

令和6年度 地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会
議事要旨

日時：令和6年11月18日（月）10:30～11:00

場所：中央合同庁舎8号館5階共用会議室C

1. 議事

（1）本申請枠：地方公共団体Aの審議

事務局から書面評価取りまとめ結果の説明があったのち、委員の意見交換を行った。委員からの主な意見は次のとおり。

- ・企業Bの事業がうまくいかなかった場合、本事業の持続可能性について、どのような想定をされているか、確認したい。
- ・最先端の研究開発であるため、勝ち残れるかリスクがあるが、本事業を通してできる企業や地域の大学、高専との連携について、継続できるものなのか確認したい。
- ・本事業における大学Cの研究力について確認したい。
- ・本プロジェクトの中で大学Dがどの程度、大学Cと連携することが可能か不透明な部分もある。
- ・地域に本事業に関係する企業の集積がこれからどの程度になると見込んでいるか、自治体から説明いただきたい。
- ・大学と企業の期待に温度差が見えてくると事業が先に進まなくなるため、最初の段階から企業Bと大学Cが研究開発プロジェクトや人材育成で同じ方向を向くことが重要である。
- ・人材の流動化がどのくらい進むのかが大変重要であるため、実質的にどう進んでいくのか注視したい。

地方公共団体Aについては、これらの内容について、現地評価で確認することにした。

以上